

2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 史学科 4年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ボローニャ大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 9月 30日 ～ 2020年 3月 4日 出国日 2019年 8月 27日 最終帰国日 2020年 3月 7日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

イタリアに留学して、日本との時の流れの速さの違いをととも感じました。日本ではイタリア人に対して「時間にルーズだ」という印象があると思いますが、「時間に追われず自分のペースで生活している」というのが、私が実際に生活してみて感じた印象です。仕事もお菓子を食べたりおしゃべりしたり、日本では見られないような光景が当たり前で、最初はとても驚きましたが、そのように気負わず力を抜いて生活するのが彼らのスタイルなのだと思います。こんな風に直接文化を感じたり、自国の文化を大切にしている現地の人々と話して考えを知ることができたりしたのは、留学の大きな成果であると思います。

また留学中は自分自身と向き合う時間がたくさんありました。いろいろ迷っていたことも時間をかけて考えて結論を出すことができるいい機会だと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

自分では基礎的なことを勉強してイタリアに来たつもりでしたが、もっとイタリア語に慣れておくべきだったと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

日本の大学生よりも熱心に講義を聞き、質問をしている印象がありました。学生と教授との距離が近い授業も多く、自分の努力次第で授業理解度も語学力もレベルアップできると感

じました。一方で、大講義室で行われる授業も多く開講されているので、授業選びはバランスよくなるようにしたほうが良いと思います。また、学生も教授も授業がたくさん詰まっていて授業後はすぐに移動をしてしまうので、質問がある場合は授業内で質問したり、友達を作って個別に聞いたりするのがよいと思いました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは町中にあるため、授業を組む際にも気にしておかなければならないポイントです。大学図書館のほかに市の図書館もあるのですが、テスト前はもちろんいつでも学生でほぼ満席の状態でした。歴史ある町なので、建物は古かったり階段しかなかったり不便なところもあるのですが、私はその落ち着いた雰囲気が好きでした。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

CLA という留学生向けのイタリア語の授業が、①8～9月の短期間、②9月～12月の長期間、③3月からの3つの期間行われていました。筆記・口頭試験を受けて、レベル別の授業を様々な国の留学生と受けることができます。①～③は何を受けてもいいのですが、無料なのは最初の1回でその後は料金が発生します。受講されるのであれば、2月からの講座をお勧めします。レベルの低いクラスは基本的な文法や定型文を練習するなど、自分でもできることが多いので、日常会話レベル以上の話ができるからレベルの高いクラスを受けたほうが、議論ができて楽しいと思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

大学が行っている留学生向けのイベントは、各学部の説明会のようなものが9月に1回開かれたのみでした。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

道路で物乞いをする方、ホームレスの方、道端・公園などで本を売りつけにくる黒人の方は、身の危険を感じたことはありませんが、町中にいました。それよりも麻薬が学生の間で多く出回っているようです。ジュゼッペ・ヴェルディ広場やオット・アゴスト広場では、夜間や早朝に麻薬の取引や使用者が多くいるので行ってはいけないと、イタリア人の友人から注意されました。そのような場所以外は、夜でも特に危ないと思ったことはありません。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Storia Medievale	
Storia del pensiero islamico	
Esercitazioni di lingua e linguistica Giapponese	
Pedagogia Interculturale	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 400~450€、(日本円) 約48000~54000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 20~30 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

ホームステイやシェアアパートはホストファミリーやルームメイトとの相性があるので、日本で契約して現地で住んでみて場合によっては引っ越しをする、というのも留學生活を快適に送るという面で1つの選択肢だと思います。現地についてから長期滞在先を探すのも大変ではありますが、そのようにしている友達もいたのでできるのだと思います。私はこの半年で3回引っ越しをして町の北、西、東側、町の中心部に住みました。町の外側になるほど家賃は安くなりますが大学に通うのが大変になるので、自分の講義が何時に町のどのへんで行われているのかも考えながら家探しはすると思います。大きなスーパーは町の外にもあるので買い物には困りませんでした。町の中心部は授業やお土産などの買い物に行きやすい、夜になっても人通りが多く安心できるなどのメリットがありました。が、車の音や叫び声などの騒音がすごかったです。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0€、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (エミレーツ航空) / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 130000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 800€、(日本円) 約 95000 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際ブランドプリペイドカード
／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード
／現金／その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

三井住友銀行のカードをもう1枚発行し、1枚は手元、もう1枚は日本で両親にお金を振り込んでもらう用にしました。なくしてしまったようにもう一枚ほかの口座とつながっているカードがあると安心だと思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

20万円…家賃の支払い

5. 保険について

(1) 保険会社名

AIG 損保

(2) 保険料

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL便／航空便／海外宅配便／その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

パソコン、イタリア語の参考書(文法ドリルや伊和・和伊辞典)、小さめのショルダーバッグ、日本のお菓子(イタリア人の友達に配りました)、菓

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

洋服、ノートやペンなどの消耗品

(4) 持って行けば良かったと思う物

- ・旅をする際に手荷物として飛行機に持っていける大きさのリュックサック
- …欧州内は格安航空で移動できますが、預入荷物は追加料金がかかるので手荷物として機内に持ち込みできるものがあれば、料金が抑えられます。
- ・化粧水などのスキンケア用品
- …化粧水は基本的に使わないように薬局にはありませんでした。無印良品があるのでそこで購入できますが、とても高いです。シャンプーやコンディショナーは、パンテーンのものが薬局にあったので特にこだわりがなければ大丈夫だと思います。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

日中は授業を受け、夜はその日の復習をしたり夕食後に友人と飲みに行ったりしていました。復習にかなり時間がかかりそれだけで精一杯な時もあるのですが、日本では習い切れていなかった文法や新しく学んだ表現・単語などをインプットする時間もとっていました。また、私は卒業論文の準備も同時に進めなければならなかったもので、そちらにもかなり時間を割いていました。

Netflix に加入しておくことをお勧めします。イタリア語の音声、字幕がついているものを倍速を変えて見ることができるのでとても勉強になりました。

(2) 週末

週末は一人でイタリア国内の旅行に行くことが多かったです。まだ全然話せない段階でもちょっと勇気を出して遠くまで旅行に行っていました。それ以外は友人の家と一緒に日本食を作ったり運動したりしていました。ボローニャでの休日は、日本にいるときよりもゆっくり時間が流れていたように感じます。

8. 後輩へのアドバイス等

現地に来ると、日本で学んだ文法が全然使われていなかったり単語が全然違う意味のものを示していたり、学んできたことが役に立たないなど思うことも多くありましたが、基本的な文法や日常会話レベルの単語力がなければ、生きたイタリア語を吸収することもできないとも感じました。大学のイタリア語中級の講義を受けることをお勧めします。また、イタリアについてから何をしなければいけないのかをちゃんとメモしておけば、慌てることもないかと思います。あとは我慢せず、人と比較せず、いろんな人を頼って、自分のペースで留学生活を楽しんでください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

➤新型コロナウイルスについて

日本の報道機関では、アジア人差別があると早い段階で報道されていましたが、私や友人は新型コロナウイルスの感染拡大の中生活していて差別的な言葉を投げかけられたり、避けられたりすることは一切ありませんでした。ボローニャにはもともとアジア系の移民が多いのも関係していると思います。

イタリアで感染者が増加してきた2月下旬には、薬局のマスクやアルコール除菌ジェルなどは売り切れていました。学校はそのころオンライン授業に切り替わり、普段であればにぎわっている広場や大通りにも人はまばらにしかおらず、娯楽施設やレストランも営業を自粛し始めました。このように人々の意識も高く、早くから自粛も行われていましたが、現在では以前のような生活に戻りつつあるようです。